

## 新基本構想の各分野において、既に取り組みが進む協働事業例

### 1. 「すみだ」らしさの息づくまちをつくる

江戸から受け継がれている「すみだ」に関わる歴史や文化が再発見されるとともに守り伝えられ、その時々ニーズをとらえた形で国の内外に発信されています。また、歴史によって培われた文化や、隅田川をはじめとする豊かな水辺、まちの雰囲気、人とのふれあい、ものづくりの技など、区民が誇りと愛着をもてる「すみだ」の魅力によって、多くの人が訪れる、にぎわいのあるまちになっています。

#### 《 すみだ観光ボランティアガイドの皆さんの取り組み 》

歴史・文化、味・人情が体感できる墨田区を訪れる来街者に対して、区民有志「すみだ観光ボランティアガイドの会」の皆さんが自分たちの住む街「すみだ」をおもてなしの心で案内しています。



#### 《 郷土文化資料館ボランティアの皆さんの取り組み 》

郷土文化資料館の展示解説や展示替えの手伝いなどを個人や団体向けに行っています。また、子供たちに、ふるさとすみだへの愛着や郷土意識をもってもらうと、郷土文化資料館とともに「すみだ郷土かるた」をつくり、現在はこのかるたの普及活動にも取り組んでいます。

#### 《 企業による地域の音楽文化・教育振興活動支援の取り組み 》

錦糸町にある企業では、すみだトリフォニーホールにおいて、新日本フィルハーモニー交響楽団とクラシックコンサートを開催し、区民を招待する一方、入場料収入を原資とし、墨田区の音楽文化・教育振興に貢献する活動への助成支援に取り組んでいます。

#### 《 両国協力会の皆さんの取り組み 》

両国の活性化と未来を考えるため、地元企業・団体等で「両国協力会」を立ち上げ、両国国技館や江戸東京博物館を拠点に「両国にぎわい祭り」のイベントなどを開催しています。

#### 《 公園愛護委員会等の皆さんの取り組み 》

区では公園・児童遊園の建設にあたり、地域の人々に愛着と親しみを持ってもらうため、計画段階から地域の人々に参加を得るとともに、完成後には、愛護委員会が結成されるなど、地域住民の連帯により公園・児童遊園の自主管理が行われています。

#### 《 隅田公園ボランティアの皆さんの取り組み 》

かねてより地元町民が守り育んできた墨堤の桜の歴史に習い、区民・企業・行政が一体となったパートナーシップによる公園の管理運営を目指し、現在、桜の健康診断や保全活動、文化・歴史の情報発信、間伐材の再利用計画の検討などを行っています。



## 2. 地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる

多様な都市機能が調和したまちになっており、職・住・遊のバランスが取れた快適な居住環境のなかで、区民は心豊かに暮らしています。主要駅周辺では商業・業務・サービス・文化などの機能が集中しているとともに、それぞれの地域においては日々の生活に必要な商品やサービスが容易に手に入る便利なまちになっています。また、誰もが快適に移動できる交通機関や道路が整備されるなど、人々が活動しやすいまちになっています。



### 《 「北斎通りまちづくりの会」の皆さんの取り組み 》

亀沢出身の浮世絵師・葛飾北斎のアピールや研究を通して、地域住民自らが北斎通りの街並みづくりと活性化について考え、行動することにより、住民同士の連携を深め、誇りと愛着を持てるような地域とするために活動しています。

## 3. 新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる

ものづくりのまちとして、技術・技能の継承が円滑に行われているとともに、さまざまな起業が盛んに行われ、国際競争力をもった新製品や新技術が次々と開発されるなど、新しい産業が生まれています。また、消費者ニーズを的確にとらえた商品・サービスを提供できる新たな商業空間では、時間をかけて買い物を楽しむ多くの人々でにぎわっています。そして、誰もが地域のなかで自分の能力を十分に発揮し活躍する、活力にあふれた元気なまちになっています。

### 《 「産学官連携クラブ」の皆さんの取り組み 》

墨田区と早稲田大学による産学官連携に基づき、区内企業の技術力と早稲田大学等の「知」を活用し、マルチマイクロ発電システムなどの研究・開発等を行うなど地域産業の活性化に寄与することを目的として活動しています。



## 4. 安心して暮らせる「すみだ」をつくる

災害や犯罪などの危険から人々の生命や財産が守られるようにまちの安全が確保され、区民は安心して暮らしています。また、高齢者や障害者をはじめとしてすべての人が生涯健康で、ともに支えあいながら、いきいきと暮らしています。子どもたちは豊かな社会生活を送っていくための確かな学力・体力・人間性を身につけて健やかに成長しています。そして、区民一人ひとりが地球環境に負荷の少ない暮らしを実践する、環境と共生したまちになっています。

### 《 「一寺言問を防災のまちにする会」の皆さんの取り組み 》

路地尊の設置やまちづくり瓦版の発行など、一寺言問地区を災害に強く、しかもうるおいのあるまちにするを目的に、地域住民主導のまちづくりを推進しています。



### 《 「雨水市民の会」の皆さんの取り組み 》

渇水と洪水、安全な飲み水の不足など世界の水危機を総合的に解決するために、雨水利用の技術開発を始め、雨水利用の普及・啓発など、都市における水循環をよみがえらせ、都市の再生を図ることを目的に、雨水利用を世界に呼びかけています。平成17年には、雨水東京国際会議を開催しました。

## 《 ボランティアセンターを拠点として活躍する皆さんの取り組み 》

障害者に対するハンディキャブの運転や手話通訳など、ボランティアセンターを活動の拠点として、多くの区民の皆さん・ボランティア活動団体が活躍しています。



## 《 NPO法人「すみだライフサービス」の取り組み 》

亀沢にある空きオフィスを活用した「すみだ子どもサロン」は、子育てに関心のある地域ボランティアの方々を中心に運営されています。核家族化が進み、育児に不安を感じる人も多い中、子育て中の保護者の仲間づくりや子育て相談、乳幼児の一時あずかりの場として活用されています。

## 《 「てーねん・どすこい倶楽部」の皆さんの取り組み 》

定年や子育て後の世代の元気シニアが、これまでに培った経験や特技を活かし、社会参加のきっかけづくりをすることを目的として、パソコンの指導や子供たちとの交流などのボランティア活動のほか、セカンドステージセミナーの開催や情報紙（どすこいかわら版）の発行・メールマガジンの配信なども行っています。



## 5. 区民と区が協働で「すみだ」をつくる

区民一人ひとりが責任と自覚をもって積極的にまちづくりに関わり、地域の課題をみずから話しあい、みずからの行動によって解決できる自律型地域社会になっています。そして、区民・地域・NPO・企業など「すみだ」の力が結集されるなかで、それぞれの主体と区との役割分担が明確になっており、住民自治の進展のもとに、多様な公共サービスの担い手によって、地域のニーズに合ったサービスが提供されるまちになっています。

## 《 「スポーツドアあずま」の皆さんの取り組み 》

「スポーツドアあずま」は、昨年、区で初めて設立された総合型地域スポーツクラブです。子どもからお年寄りまで誰でも地域で気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむことができる場として、地域住民が主体となり、クラブを企画・運営しています。



## 《 「すみだ やさしいまち宣言」による取り組み 》

区では、平成12年7月に「すみだ やさしいまち宣言」を行い、「やさしいまち」実現のため、一人ひとりが区民運動の主役として実践活動に取り組めるよう、さまざまな取り組みを進めています。

昨年度から、「地域を結ぶ」「地域で和む」をキーワードに、「やさしいまち」の土台となる「地域における人づくり」のための新たな展開を目指し、「わがまち通信局」支援事業（町会・自治会等のホームページの開設・拡充の助成）により、各町会・自治会において、独自のホームページが、随時、開設されています。



### 18年度「すみだ やさしいまち宣言」推進事業の基本方針

墨田区基本構想のキーワードである「協治（ガバナンス）」の下、区民一人ひとりが「すみだ やさしいまち宣言」運動の主役として「やさしさ」や「おもいやり」の心を大切にし、「地域」の結束力を強化しながら「人」と「地域」と「環境」にやさしいまちづくりのさらなる進展をめざしていきます。